

2003.10.8 発行

<http://www.chouyou25.jp/>

ニ ュ ー ス

三木坊さんの説法会、11月8日(土)午後4時から 皆さんおいで下さい!!

F組・三木(有馬)真理

最近 ML で話題沸騰中の三木悟くん(通称三木坊さん)の説法会を下記要領にて行ないます。最近何だか疲れている人、心が洗われたい人、チョット興味のある人、飲みたい人など、どなたでも結構ですので、ふるってご参加ください!三木坊さんは真宗大谷派高明寺のちゃんとした?ご住職様です。

ただ今、高明寺の移転、建設準備のため仮のお寺(横浜の街、ベイブリッジが一望できる高層マンションの一室です。)にて、となってしまうますが、昼も夜もとても眺めがいいそうですよ!!!マンションといえどもちゃんとご本尊もありますからご安心を。真面目に1時間程、説法会(三木君の袈裟姿も見ることができるかも)が行なわれた後、きっと飲み会ということになると思います??(事前に幹事は飲みもの、おつまみを調達してくることになっていますので・・・)話題のシタールの演奏も聞く事ができるかもしれませんよ。皆様のご参加お待ちしております。なお参加希望の方は ML にてお知らせください。何か不明な点がございましたら F 組幹事、橘川(西尾)三木(有馬)まで。

記

場所:高明寺(仮住まい)横浜市神奈川区富塚町1 13スカイハイツトーカイ2501

最寄り駅は東神奈川駅(京浜東北線 or 横浜線)

地図は <http://www.chouyou25.jp>

*オートロックなので入り口で部屋番号を押してください。

日時:11月8日(土)

説法会 16:00 ~ 17:00

飲み会(生臭会) 17:00 ~

会費: 飲み物、おつまみ代として 2 ~ 3 千円。

以上

コ ラ ム

【音楽室から】

荘厳な響き

F組・大野 仁

「荘厳な響き」というのが適切かどうかは全く分かりませんが、森氏に敬意を表して題だけは立派にしてみました。

さて、10月4日、早朝からML上で中年のおじ様方のメールが飛び交う中、下北沢の「緑の村」でパイパー森バグパイプライブが行われました。定刻の3時には、熱烈な森パイプファンの御婦人と青年、村長の米山氏、渡辺氏、斉藤氏、松村氏、三木氏(坊さんの方)、大野が集まりました。

「じゃあ、時間なので一曲目をやりますか。」という全く緊張感のない森氏のことばで演奏が始まりました。楽器の調律をしていたかと思ったら、いつの間にか曲が始まっていたようです。(全部で7曲聴きましたが最後まで調律と始まりの区別はできませんでした。)MLや週刊新宿誌(紙?)上で「室内では聴く方も忍耐の要る音量」と釘を刺されていたので相当な覚悟をしていましたが、店内全体を揺るがすようなすさまじい響きです。あまりの迫力に一同が我を失っているうちに一曲目が終了しました。12分間の曲でしたが、あれほどの音量を自らが吐き出す空気によって奏でるわけですから、50歳に手が届こうかという我々の世代にとってはかなりの体力の消耗です。ここぞばかりに繰り出される質問を「ちょ、ちょっと待って・・・」と制し、イスに倒れ込むように座った森氏の広い広いひろーい額には汗が光っていました。

ハイランドパイプは4本のパイプで音を出します。常に同じ音を出し続けるドローンと呼ばれるパイプが3本、メロディを出す指穴が空いたチャンターというパイプが1本です。動物の皮(森氏のは鹿の一種だそうです。名前も聞きましたが短期記憶の回路が破壊されているので忘れてしまいました。)で作った空気を蓄える袋に息を吹き込み、それを脇に抱えひじで押しながら途切れることなく音を出し続けます。蓄えた空気が音を出すので、息継ぎ中も音は出続けます。パイプ四本分の空気を送り続けるわけですから、演奏中は全力で泳いでいるようなものなのでしょう。

さて、そんなことを解説してもらっているうちに森氏の体力も回復し2曲目です。今度は聴く側にも若干の余裕があります。興味津々でいろいろ観察をしました。演奏中の森氏は異様に姿勢がよくいつになく凛々しいこと。(森氏曰く「これほどいい姿勢で演奏する楽器はない」そうです。あれだけの音量を出すためには最高の姿勢が要求されるのでしょう。猫背の方にお薦めの楽器です。)リコーダーのように指を曲げて指先で穴を押さえず、指の腹というか第一関節の辺りで穴を押さえていること。息を吹き込むときには肘を緩め、息継ぎをするときに袋を押ししてい

ること・・・。

4時を回る頃になると有馬女史(旧姓でごめんなさい。坊さんの方と区別がつきにくいもんだから・・・。以下、女性の方はすべて旧姓です。私の脳みそは新しいことに対応できないのです。)が到着。続いて西尾女史。彼女は地図の見方が分からず迷いはしたものの店に近づいてからはバグパイプの音を頼りにたどり着けたそうです。パイプの音は店内だけではなく下北沢の商店街に鳴り響いていたようです。近所の方々はいったい何事が始まったのかと思ったことでしょう。さらに名木田氏登場。なんと我々の世代にしては瑞々しい女性を従えているではありませんか! いい歳をしてにやけた顔で「へへ、うちの奥さん」と紹介していましたが、納得できないと思ったのは私だけでしょうか!?(6歳も年下なんだって!)名木田氏は奥様に信用がなく、「あやしげな店に行くのではないか?」という疑惑を確かめるべく奥様が着いていらしたのではないか、というのがW氏、S氏、N女史と共に出した結論です。

だいぶ脱線してしまったので話を元に戻しましょう。3曲目、4曲目と進むに連れ、森氏も乗ってきたようで、舞台の上で「無我の境地」に入り込んで演奏しているのが傍目にもわかりました。本人に聞くと「完全に行(逝)っちゃってる」そうで、一人恍惚の世界に旅立っていたようです。激しい有酸素運動の連続なわけですから、体中の血液中の酸素が入れ替わり、さぞ爽快だろうなと見ている誰もが感じたことでしょう。私は無性にカラオケで熱唱したくなりました。

5曲目、6曲目となると「エンドルフィン(有名な脳内快感物質です)満タン状態」で快感に浸っている森氏の演奏を尊重しつつも、聴衆もそれぞれのテーブルでの会話に盛り上がりました。なんせあの音量の中で会話を成立させるのですから、我々もいったいどのくらいの声でしゃべっていたのやら・・・。とりあえず演奏予定の曲目は終了し、その後は米山村長が軽快な特殊アコーディオンで楽しませてくれました。

演奏の合間にはビデオで本場のバグパイプの演奏が流されました。コスチュームを身にまとい大自然の澄んだ空気の中で奏でられるバグパイプの音色はまた一味違っていました。(森氏のスカート姿も見なかったのに・・・。)本来、障壁のないどこまでも音が伸びていける環境で演奏する楽器とのことで、「今回のライブは是非壮大な自然の中で」ということになりました。さすがにあの大迫力の演奏を聴いた後では誰も「三木氏のお寺(マンション)」と言い出す人はいませんでした。今回、聴き損ねた人は、次回に期待してください。渡辺幹事長が、海岸でキャンプファイヤー、フォークダンスなどやりながら・・・という企画をしそうです。(幹事長と名木田氏はフォークダンスという言葉に過剰に反応し、「マイムマイムはだめ!オクラハマミキサーがいい。」と二人で盛り上がっていました。)

6時ごろ(?)森女史、しばらくして相川女史が参上。予定していたメンバーは、これで勢ぞろいです。なんと相川女史と私は48年間で初めて言葉を交わしました。この夜、この店でそういう組み合わせがいくつかあったと思います。人の縁というのは不思議なものだなと改めて感じたりもしていました。全員がそろったところで、追加の一曲。何曲聴いてもこの迫力には圧倒されます。

その後はオフ会。9時ごろまで店を新宿高校でほぼ独占し、それぞれのテーブルに別れて会話に花を咲かせました。森女史と私は高尚な教育の話で盛り上がりましたが、中にはお下劣な話が炸裂していたテーブルもあったようです。

というわけで「パイパー森、バグパイプライブ」は無事に終了しました。あの迫力ある音量、固定した複数の音に旋律が重なる奏法(?)どの楽器とも違う独特の音色、参加した誰もが初めて生で聴き、感心し、感動したことと思います。また、いくら好きとはいえ、成人してからやり始めた楽器をあそこまで弾きこなす「パイパー森」の姿を誰もがうらやましいと思ったことでしょう。何かを成し遂げようとするかつての学友(古い!もう死語になってるかな?)の姿に勇気付けられたのは私だけではないでしょう。

今回は、三木氏の「ありがたいお説教」だそうです。けがれた人生の垢を落とすいいチャンスかもしれません。ふるって参加しましょうね。有馬さん、煩惱にまみれた名木田君には招待状や案内状ではなく召集令状を出してください。

と、成り行きでライブの記事を書くことになってしまいました。伝えるべきことを伝えられたかは全く自信がありません。森氏の演奏に合わせ格調高く書こうと試みましたが、いつの間にか長年書きなれた「学級通信」の乗りになってしまいました。ごめんなさい。ついでに、たびたびネタに使わせていただいた名木田君、何の恨みもありません。紙面を借りて謹んでお詫び申し上げます。若くて美しい奥様にも よ・ろ・し・く！

こちらの紹介は、

<http://www.chouyou25.jp/history/2003-1004-VillageGreen-Mori/2003-1004-VillageGreen-Mori.htm>

[URL が途中で切れている場合は、ブラウザに入力するときに残りも入力して下さい]

でも行っております。写真をご覧になりたい方は、こちらからご覧になることができます。

バックナンバーをご覧になりたい方は、

<http://www.chouyou25.jp/shukan-shinjuku/> より、見ることができます。

では、また来週！

感想などは、 henshu@chouyou25.jp 迄お送り下さい。

「週刊新宿」(毎週一回発行予定)

発行元：朝陽同窓会新 25 回同期会

発行人：25 回代表幹事 渡辺康隆

編集長：斎藤 成

編集：斎藤 成、渡辺 康隆

編集技術：土橋 英三

WebSite： <http://www.chouyou25.jp/>

お問い合わせ：henshu@chouyou25.jp

(C)2003 Chouyou25 All Rights Reserved 無断転載禁止